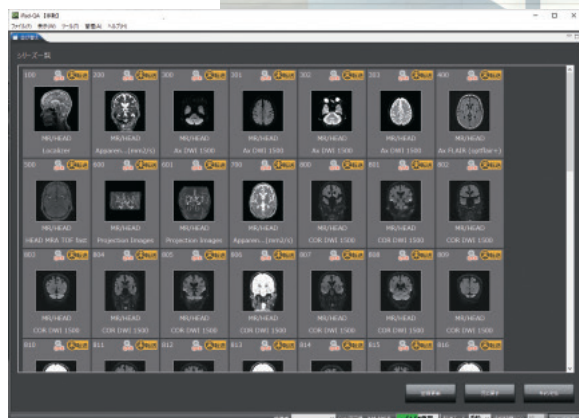


インフォコム

<https://service.infocom.co.jp/healthcare/irad/>theme... **放射線部門の医療安全と業務省力化に貢献****主な展示製品**

- 放射線情報システム
[iRad-RS]
- 放射線レポートシステム
[iRad-RW]
- 放射線治療システム
[iRad-RT]
- 放射線治療ビューア
[RT Image Viewer]
- 検像システム
[iRad-QA]
- 整形外科画像システム
[iRad-OT]



「iRad-QA」のシリーズ並び替え画面



「iRad-RS」の検査ワークリスト画面

インフォコムの放射線部門システム「iRad」シリーズは、放射線部門が抱える多くのご要望・ご相談の声に応え、業務を支援する多彩な機能を実装し続けている。ITEM2021においては、リニューアルした検像システム「iRad-QA」を展示。またコロナ禍における感染防止対策として非接触操作を可能とした「iRad-RS」を参考展示する。

●検像システム
「iRad-QA」

販売開始より多くのユーザーが利用している検像システムがリニューアル。従来の使い勝手の良さはそのままに、一般撮影やMRIのシリーズ並び替えなどの操作性が向上。専用

端末以外から検像作業を行えるQA Anywhere オプションについても、全親機を横断した検査一覧を確認できるように改良を行っている。

また、「iRad-RS」とのさらなる連携強化を行い、画像未転送やオーダ情報不一致を防止する仕組みも新しく取り入れ、確実な放射線業務に貢献している。

●放射線情報システム
「iRad-RS」

ITEM2021では、ユーザーからの問い合わせが多い、線量記録についての展示を実施。患者/検査項目単位での線量情報の一覧表示、平均値出力や国内の診断参考レベル(DRLs 2020)との比較が可能。核医学検

査での線量管理にも対応を広げ、放射性医薬品の減衰計算を行うことで、投与時の放射線量を記録することが可能である。

●放射線レポートシステム
「iRad-RW」

様々な読影レポート作成支援ツールだけではなく、症例検索や読影業務のデータ分析など、蓄積された情報を効率的に活用できる。読影率集計機能は、翌診療日までの読影率を簡単に集計。検査前に確認・指示した記録も残せるため、画像診断管理加算3にも対応可能。既読管理機能は、画像診断報告書の見逃し対策として医療安全に貢献する。